

20. 日浦 勇, 1980. *Rostria*, (32):331-333.

21. 日浦 勇, 1980. *Rostria*, (33):354-358.

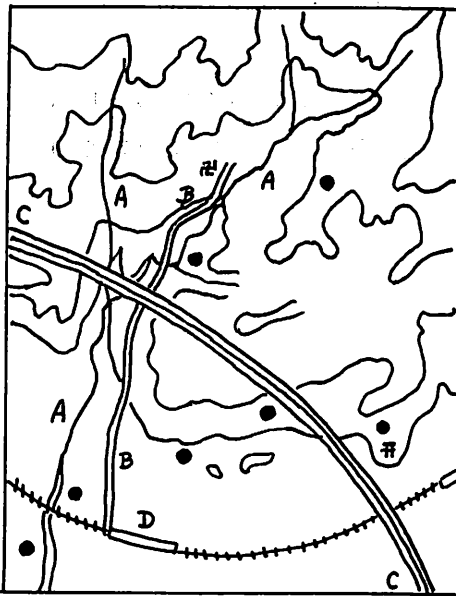
22. 内海功一, 1980. てんとうむし, (6):31.

(15-VII-1981)

## 宝塚市清荒神のチョウ

加藤 信 一 郎

このたび高橋寿郎氏のご厚意により、宝塚市清荒神に生息する蝶について報告することになった。報告に先立って心からお礼申しあげる。



清荒神付近概念図

- 調査地点
- ☪ 清荒神
- ☪ めふ神社
- A 荒神川
- B 参道
- C 中国自動車道
- D 阪急清荒神駅

清荒神周辺の地理的環境は、西は南北に流れる武庫川を隔てて六甲山系に、北は東西に延びる低山地長尾山系にそれぞれ接する丘陵地と、それから東南に広がる平野部からなる自然環境は、阪神二大都市のベットタウンとして近年とみに開発が進んだが、なお雑木林や田畑がまばらに点在すると共に、

始めて清荒神にすむようになったのは1949年(昭和24年)からで、通算すると約32年になる。その間、最初の8年間は阪急宝塚線清荒神駅の少し南側にいたが、その後線路を越えて参道の途中から東に入った現住所に移って今日に至っている。

記憶とは実にあやふやなもので、かなり古くから集めていたとばかり思い込んでいたが、いざ実際に当たって見たところ、ほぼ継続的に観察・採集を始めたのは漸く、1970年に入ってからで、それ以前の採品はきわめて少ない。それも後々の記録に残しておこうといった計画性など更になく、ただそのころ、久しく休眠していた蝶熱がまた突然再燃して、今日まで細ぼそと続いてきたような次第である。従って誠に貧弱な記録ではあるが、丁度周辺の宅地・道路など開発が本格的に始まりかけた時期と合致するので、その中から、開発の進展と蝶生息の変遷との係わり、ならびに生息する種の消長と特徴などを多少ともべつ見できるのではないかと思う。

清荒神・売布神社など豊かな森と下生えをもつ社寺が多く、これらによって何とか植生は保たれている（加藤，1980，ちょうちょう，3巻8号）。

因に、宝塚市に生息する蝶相については、奥谷博士が宝塚市史第7巻に詳述されているので参考にされたい。その中でウラキシジミは一部のマニアの間では、清荒神はその多産地として有名とあるが、筆者は残念ながら採集・目撃共がない。

なお、1978年8月、夏休み中の小中学生向けに、周辺の自然環境の保全を願って、「清荒神・売布にいるチョウ」をテーマに、採品の一部を池田銀行めふ支店内に展示した。

## 清 荒 神 の チ ョ ウ

主な採集場所は、自宅庭およびその周辺、阪急以北の荒神川沿い林縁、畑地、清荒神境内とその周辺などごく狭い範囲で、売布神社境内を含む（附図参照）。

採品は平地から低山地に生息する普通種だが、8科40属52種に達する。上述したように調査範囲が限られているので、清荒神全域の生息種はこれを上回ると推測される。又採品には移動性をもつウラナミシジミ、ツマグロヒョウモン、低山地よりも高地に多いミドリヒョウモン、一度しか採集例のないヒオドシチョウなど、確実に定着しているかどうか疑わしい種が含まれている。

主な特徴としては、ホシミスジ、トラフシジミの多産が挙げられる。前者は本来低山地から山地に生息し、発生は局部的といわれる。しかし奥谷博士もご指摘のようにこの辺りの庭木にはシモツケ科のユキヤナギ、コデマリなどの食草が多いことから、平地にまで生息範囲を拡げてきたものと思われる。後者は山地、平地に広く分布するが個体数は少ない。狭い範囲だが、参道脇の林縁にミツバウツギの自生地があり、1975年には特におびただしい発生を見たことがある。また市街地の一部となった現在でも、いわゆるオープンランドの蝶だけでなく生息種の変化に富む点が注目されるが、多分低山地に接するだけではなく、それを結びつける社寺林や民家の庭木、垣根に恵まれているからだと思う。

しかしここ十数年を振り返って見ても様々な変化があった。1、2の事例を挙げると、雑木林のはずれにヤナギが立ち並んでいて、季節になるとコムラサキの蛹がまつわりつき、成虫が飛び交っていた。ところがある日中国自動車道の工事が始まって、ヤナギごと消え去った。また旧家の庭先に茂るエノキの樹上をゴマダラチョウが緩やかに旋回していて、さも当然のように見えていたものだが、それも宅地造成のため切り倒されてゆき、今は滅多に見られない蝶になってしまった。このように今後も開発が進むと、蝶相の変化は一段と加速し、貧相になることが懸念される。またこの間、農薬の普及が蝶など小さい虫の生態系に及ぼした影響も無視できない。もっとも市街地内まで頻繁に使用された一時期に比べると、最近はや個体数の回復が目につくようになったが、市街化と共に消滅した種は再

び戻ってこない。

種別の記録には筆者の私見を簡単に付記した。また採集者記号のRKは妻玲子、NKは長男暢也、KKは末弟和彦のイニシアル、無記載は筆者の採品で、すべて筆者が所蔵する。

## アゲハチョウ科 Papilionidae

### 1. ジヤコウアゲハ *Byasa alcinous* Klug

1♀, 16-5-1971. 1♂2♀, 29-4-1973. 1♀, 30-4-1974. 2♂, 10-5-1975. 1♂1♀, 30-4-1977. 少ないが今も生息していると思われる。夏型は採集・目撃ともない。

### 2. アオスジアゲハ *Graphium sarpedon nipponum* Fruhstorfer

1♀, 19-7-1970. 1♀, 26-7-1970. 5♂, 3-5-1971. 1♂, 16-5-1971. 1♀, 27-6-1971. 1♂, 11-8-1979. 1♀, 14-9-1980. 1♂1♀, 2-8-1981. クロアゲハと共に最も多い。

### 3. キアゲハ *Papilio machaon hippocrates* C.&F. Felder

1♀, 13-9-1970. 1♀, 12-9-1979. 1♂, 24-8-1980. 1♀, 7-26-1981. 少ないが近年比較的良く見掛けるようになった。春型はまれ。

### 4. ナミアゲハ *P. xuthus* Linnaeus

2♂, 3-5-1970. 1♀, 18-8-1970. 1♂, 30-8-1970. 1♂, 3-5-1971. 1♀, 16-5-1971. 1♀, 25-7-1971. 1♂, 3-5-1972. 1♀, 2-6-1974. 1♀, 10-5-1975. 1♂, 10-8-1975. 減ったが、まだ普通に見られる。

### 5. クロアゲハ *P. protenor demetrius* Cramer.

1♂ ab, 29-4-1958. 1♂, 1♀ ab, 10-8-1958. 2♂, 3-5-1970. 1♀, 17-7-1970. 1♀, 26-7-1970. 1♀, 16-5-1971. 1♀, 30-4-1972. 1♀, 2-5-1976. 1♀, 21-5-1978. 1♂, 28-5-1978. 1♀, 15-7-1978. 1♂, 30-4-1979. 1♂, 1-7-1979. 1♀, 23-9-1979. 1♂, 17-8-1980. 2♂, 13-9-1980. 尾状突起の短小化する傾向が見られる。異常型(わい小な1♂と後翅に二重赤斑列をもつ1♀)については、ちょうちょう, 1980, 3巻8号に発表している。

### 6. モンキアゲハ *P. helenus nicconicolens* Buter

1♀, 9-1955. 1♂, 15-9-1979. きわめて少ないが例年見掛ける。

### 7. オナガアゲハ *P. macilentus* Janson

1♂, 5-5-1972. その後目撃していない。

8. ナガサキアゲハ *P. memnon thunbergii* von Siebold

1♂, 9-5-1981. 当地では初の記録。詳細は本号に併せて発表した。

9. カラスアゲハ *P. bianor dehaanii* C. & R. Felder.

1♂, 8-1955. 1♂, 16-8-1970, NK. 1♂, 25-7-1971, NK. 1♀, 27-7-1975, KK.  
1♂, 23-8-1980. 少ない。春型は目撃していない。

## シロチョウ科 Pieridae

1. モンキチョウ *Colias erate poliographus* Motshulsky

1♀黄色型, 8-1968. 1♂, 20-9-1970. 1♀白色型, 26-9-1970. 2♂, 10-10-1970.  
1♀白色型, 18-10-1970. 1♀黄色型, 29-4-1972. 1♂, 1♀白色型, 17-6-1972. 最近  
は目撃していない。

2. ツマグロキチョウ *Eurema laeta bethesba* Janson

1♂, 13-9-1970. 2♂, 18-10-1970. 1♂, 17-6-1972. 1♂, 25-4-1976. 少ない。

3. キチョウ *E. hecabe mandarina* de Orza

1♂, 5-8-1970. 1♂1♀, 8-8-1970. 1♂, 4-9-1970. 1♂1♀, 5-9-1970. 1♂, 1♀,  
13-9-1970. 1♂, 3♀, 20-9-1970. 1♂2♀, 28-3-1971. 1♂, 4-4-1971. 随所に見ら  
れる。

4. スジグロシロチョウ *Pieris melete* Ménetriès

1♀, 20-8-1970. 1♂, 13-9-1970. 1♂1♀, 2-4-1971. 1♂2♀, 4-4-1971. 1♀,  
21-4-1971. 1♀, 17-6-1972. 1♂, 21-5-1978. 1♀, 14-10-1979. 自宅周辺では次  
種より多く、かつ混生する。

5. モンシロチョウ *P. rapae crucivora* Boisduval

2♂, 2-8-1970. 1♀, 5-9-1970. 1♀, 26-9-1970. 2♂, 28-3-1971. 3♂1♀, 4-4-  
1971. 1♂, 18-3-1972. 3月18日が最も早い初見日である。随所に見られる。

6. ツマキチョウ *Anthocharis scolymus* Butler

1♂, 28-3-1971. 6♂, 4-4-1971. 1♂, 18-4-1981. 70年ごろは多かったが、激減した。

## シジミチョウ科 Lycaenidae

1. ムラサキシジミ *Narathura japonica* Murray

1♀, 1-9-1971. 1♂, 22-10-1972. 1♀, 22-7-1972. 1♀, 24-9-1972. 1♀, 29-  
10-1972. 1♀, 12-8-1973. 1♀, 9-8-1975. 1♂1♀, 7-9-1975. 1♂, 27-8-1977.

1♀, 14-9-1977. 1♀, 15-10-1977. 2♀, 30-10-1977. 1♀, 8-5-1978. 1♀, 22-7-1978. 1♀, 6-8-1978. 1♀, 9-9-1978. 1♀, 19-10-1978. 1♀, 16-2-1979. 1♂, 7-7-1979. 1♂, 3-9-1979. 1♀, 3-11-1979. 3♀, 8-8-1980. 1♂1♀, 26-7-1981. カシが多いので多産する。特に盛夏から晩秋にかけて多く見られるが♂は少ない。

2. アカシジミ *Japonica lutea* Hewitson

1♂, 22-5-1978, RK. 自宅玄関脇での採品が唯一のもので生息に疑問が残る。

3. ミズイロオナガシジミ *Antigius attilia* Bremer

1♀, 17-6-1972. 1♀, 15-6-1975. 1♀, 26-7-1981. いずれも自宅の裏手の側溝に沿うまばらな雑木林での採品。消滅寸前と思われる。

4. トラフシジミ *Rapala arata* Bremer

1♀, 16-5-1971. 1♀, 29-4-1972. 2♀, 30-4-1972. 1♂, 29-4-1973. 2♀, 30-4-1974. 1♂1♀, 6-5-1974. 3♂3♀, 26-4-1975. 7♀, 10-5-1975. 1♀, 4-4-1976. 2♀, 6-5-1979. 1♀, 26-4-1981. 1♀, 9-5-1981. 多産するが♂はきわめて少ない。夏型は今まで目撃したことがない。

5. ベニシジミ *Lycaena phlaeas daimio* Seitz

1♂1♀, 27-6-1971. 1♀, 31-7-1977. 1♀, 14-9-1977. 1♀, 10-10-1978. 1♀, 3-9-1979. 1♀, 13-7-1980. 1♂1♀, 18-4-1981. 1♀, 9-8-1981. 比較的少ない。暫らく見なかったが、ここ数年また見掛けるようになった。

6. ゴイシジミ *Taraka Hamada* Druce

1♀, 18-10-1970, NK. 自宅裏側溝沿いのわい性の竹垣での採品。恐らく消滅したものと思われる。

7. ウラナミシジミ *Lampides boeticus* Linnaeus

1♀, 5-10-1975. 1♂, 1-10-1977. 1♀, 6-10-1979. 近年見掛けるようになったが少ない。いずれも秋の採品で、偶産種と思われる。

8. ヤマトシジミ *Pseudozizeeria maha argia* Méne'triès

1♂, 30-5-1971. 1♀, 13-6-1971. 1♂, 26-6-1971. 1♂, 27-6-1971. 1♂, 9-7-1972. 1♂, 28-8-1972. 1♀, 3-9-1972. 1♀, 17-9-1972. 1♂2♀, 29-7-1973. 1♂, 22-7-1977. 1♀, 15-9-1979. 路傍の随所にごく普通に見られる。

9. ルリシジミ *Calastrina argiolus ledonides* de l'Orza

1♂, 31-5-1972. 2♀, 17-6-1972. 1♂1♀, 17-9-1972. 1♀, 24-9-1972. 1♂1♀, 22-7-1973. 1♀, 24-8-1975. 1♂1♀, 4-4-1976. 1♀, 12-6-1976. 1♀, 3-7-1980.

比較的多く自宅庭にもよく飛来する。

10. ツバメシジミ *Everes argiades hellotia* Ménetriés

1♂1♀, 3-5-1971. 1♂1♀, 26-6-1971. 1♂, 27-6-1971. 1♂, 26-4-1975. 1♀, 2-8-1981. 1♀, 15-8-1981. 1♂, 18-8-1981. ルリシジミより少ない。

11. ウラギンシジミ *Curetis acuta paracuta* de Niceville

1♀, 23-8-1970. 1♂, 30-8-1970. 1♀, 13-9-1970. 1♀, 18-10-1970. 1♀, 12-9-1971. 1♂, 14-9-1972. 1♀, 17-9-1972. 1♂, 24-9-1972. 1♂2♀, 22-10-1972. 1♀, 28-10-1972. 1♂, 19-7-1975. 1♀, 2-8-1975. 1♂1♀, 14-9-1977. 1♂, 23-7-1978. 1♀, 20-8-1978. 1♂, 19-8-1979. 1♀, 13-10-1979. 2♂, 26-7-1981. 多産する。採品の1♂(14-9-1972), 1♀(28-10-1972)は前翅長14mm, 16mm, わい小な型である。

### テングチョウ科 *Libytheidae*

1. テングチョウ *Libythea celtis celtoides* Fruhstorfer

1♀, 10-5-1975. 1♀, 25-4-1976. 1♀, 8-5-1978. 1♀, 6-5-1979. 1♀, 18-4-1981. 採品は凡て越冬個体で新たな発生個体は目撃していない。

### マダラチョウ科 *Danaidae*

1. アサギマダラ *Parantica sita niponica* Moore

1♂, 9-1956. 旧自宅庭での古い採品のみで, 最近は全く見掛けない。

### タテハチョウ科 *Nymphalidae*

1. ミドリヒョウモン *Argynnis paphia geisha* Hemming

1♀, 10-10-1970. 1♂, 16-7-71. 採品以外は全然目撃しない。偶然種と思われる。

2. ツマグロヒョウモン *Argyreus hyperbius* Linnaeus

1♂, 6-1956. 1♀, 21-8-1976, NK. 前者は旧自宅庭後者は自宅庭の採品、偶然種と思われる。

3. アサマイチモンジ *Ladoga glorifica* Fruhstorfer

1♂, 20-7-1975. 次種と共に少ない。

4. イチモンジチョウ *L. camillia japonica* Ménetriés

1♂, 17-8-1970。1♀, 26-7-1981。

5. コミスジ *Neptis sappho intermedia* W.B.Pryer

1♀, 2-8-1970。1♂1♀, 16-5-1971。1♀, 26-7-1981。1♀, 15-8-1981。次種と混生するが、それより少ない。

6. ホシミスジ *N.pryeri* Butler

1♀, 2-8-1970。1♂, 30-5-1971。1♂1♀, 9-6-1971。1♀, 26-6-1971。1♂, 27-6-1971。1♀, 4-7-1971。1♂1♀, 10-7-1971。1♂, 24-6-1974。1♀, 17-6-1978。1♀, 13-9-1978。1♀, 17-6-1979。1♂, 11-8-1979。1♂, 19-8-1979。1♀, 22-9-1979。1♀, 24-8-1980。1♂, 30-5-1981。多産する。

7. キタテハ *Polygonia caureum* Linnaeus

1♂, 23-7-1970。1♀, 26-7-1970。1♂, 2-8-1970。1♀, 17-8-1970。1♂, 28-8-1971。1♂, 4-4-1971。1♀, 11-7-1971。1♂, 14-9-1977。1♀, 18-9-1977。近年減少傾向が目立つ。

8. ヒオドシチョウ *Nymphalis xanthomelas japonica* Stichel

2♂, 6-1969。自宅庭での採品。偶産種と思われる。

9. ルリタテハ *Kaniska canace no-japonicum* von Siebold

1♀, 23-8-1970。1♀, 24-8-1970。2♂, 30-8-1970。1♀, 13-9-1970。1♂, 23-11-1973。1♀, 26-8-1979。1♂, 9-9-1979。1♀, 23-8-1980。例年秋から比較的良く見られる。

10. アカタテハ *Vanessa indica* Herbst

1♀, 8-1969。1♂1♀, 27-8-1970。1♀, 30-10-1979。少ない。

11. コムラサキ *Apatura ilia substituta* Butler

1♂1♀, 16-8-1970。1♀, 17-8-1970。2♀, 23-8-1970。1♂, 25-5-1978, RK。1♂, 5-8-1979。1♀, 6-9-1980。激減したが例年自宅庭に飛来する。

12. ゴマダラチョウ *Hestina japonica* C.&R.Felder

1♂2♀, 2-8-1970。1♀, 22-8-1970。1♂, 21-5-1971, RK。1♂, 17-9-1977。1♂, 26-5-1979。激減したが、生息は続けている。

## ジャノメチョウ科 Satyridae

1. ヒメウラナミジャノメ *Ypthima argus* Butler

2♂, 29-4-1972。1♂, 15-7-1972。1♂, 5-5-1981。2♂2♀, 30-5-1981。最も普通

に見られる。

2. ジャノメチョウ *Minois dryas bipunctatus* Motschulsky

1♀, 26-7-1970. 1♂, 4-7-1971. 1♂, 1-8-1981. 現在も清荒神寺林縁に生息する。

3. クロヒカゲ *Lethe diana* Butler

1♂, 2-10-1977. それほど多くはない。

4. ヒカゲチョウ *L. sicelis* Hewitson

1♂, 9-9-1975. 1♂, 10-6-1979. 1♂, 15-9-1979. クロヒカゲと共生する。

5. サトキマダラヒカゲ *Neope goschkevitschii* Méne'triès

1♂, 26-7-1970. 1970年ごろには自宅横のササの茂みに毎年発生していたが、結実して枯れてからは全く見ない。消滅したものと思われる。

6. ヒメジャノメ *Mycalesis gotama fulginia* Fruhstorfer

1♀, 2-8-1970. 1♂, 5-9-1970. 1♀, 20-9-1970. 1♀, 23-9-1979. 1♀, 18-8-1981. 次種より少ない。

7. コジャノメ *M. francisca perdicas* Hewitson

1♂, 24-7-1970. 2♂, 16-5-1972. 1♀, 10-5-1975. 1♂, 2-5-1976. 1♀, 5-5-1979. 1♂1♀, 5-4-1981. 1♂1♀, 30-5-1981. 1♀, 1-8-1981. 1♂, 9-8-1981.

### セセリチョウ科 *Hesperiidae*

1. ダイミョウセセリ *Daimio tethys* Méne'triès

1♂, 17-7-1972. 採品の後は目撃していない。

2. キマダラセセリ *Potenthus flavum* Murray

2♀, 21-6-1971. 1♂, 3-9-1972. 1♀, 17-9-1972. 1♂, 24-9-1972. 1♂, 20-8-1978. 1♀, 9-9-1979. 第2化の発生個体を見かけることが多い。

3. ホソバセセリ *Isoteinon lamprospilus* C.&R.Felder

1♂, 16-7-1972. 1♂, 14-7-1974. 1♂, 12-7-1979. 少ない種と思われる。

4. チャバネセセリ *Pelopidas mathias oberthueri* Evans

1♂, 10-11-1973. 1♀, 10-10-1978. 1♂, 23-9-1979. 1♂, 10-10-1979. 1♂, 20-10-1979. 次種に比べてはるかに少ない。

5. イチモンジセセリ *Parnara guttata* Bremer & Grey

2♀, 27-8-1972. 1♂1♀, 8-9-1979. 例年秋口から晩秋にかけて多発する。